

“洋上の楽園”「ばしふいっく びいなす」が門司港に寄港しました！

平成28年10月14日（金）と18日（火）に、クルーズ船「ばしふいっく びいなす」が、約3年ぶりに門司港に寄港しました。“ふれんどしっぷ”がコンセプトの、気さくで温かな雰囲気のカムフラーズ船です。

10月14日（金）のクルーズは、神戸～門司～屋久島～神戸をめぐる「ドリームズ・カム・クルーズ」。午前6時、「ばしふいっく びいなす」は、まだ真っ暗な門司港にゆっくりと入港しました。船内の灯りが水面に輝き、とてもきれいな入港風景でした。今回は、関西のテレビ局MBSのチャータークルーズで、岸壁の賑わいやおもてなしの様子が、MBSとRKB（系列局）で生中継されました。約520人の乗客は、関門人道トンネルをウォーキングしたり、人力車で門司港レトロ地区を巡ったりと、思い思いに関門地区の観光を楽しみました。岸壁では、かに汁のふるまいや特産品の販売、北九州市消防音楽隊・カラーガード隊によるコンサート等、様々なおもてなしイベントを実施し、乗客の皆さまを心を込めて歓迎しました。

10月18日（火）のクルーズは、神戸～門司～ウラジオストク（ロシア）～敦賀～博多をめぐる「ロシア・ウラジオストク バレエクルーズ」。午前8時の入港にあわせ、北九州市の消防艇「ひまわり」による赤と青の鮮やかなカラー放水で歓迎しました。今回は、ウラジオストクでのバレエ観賞クルーズで、門司発のコースも設定され、約60人が門司港から乗船されました。出港は、午後7時。緑丘中学校吹奏楽部によるマーチングスタイルのコンサートでお見送りしました。岸壁から、声を揃えて「行ってらっしゃーい！」とメッセージを送ると、大きく汽笛を鳴らし、ウラジオストクへと出港しました。

【10月14日(金)】



早朝の門司港に入港する「ばしふいっく びいなす」



「ドリームズ・カム・クルーズ」の「らいよん船長」と一緒に記念撮影



北九州市と芦屋町がおもてなしブースを出店しました



「豊前本ガニ」を使用した、出来たてのかに汁のふるまい



北九州市消防音楽隊・カラーガード隊によるコンサート



夕暮れの関門海峡をバックに、次の港 屋久島へ出港

【10月18日(火)】



関門橋をくぐって入港



たくさんの乗客が鮮やかなカラー放水を写真におさめていました



ようこそ！北九州港へ ゆるキャラたちが元気にお出迎え



門司港名物！バナナの叩き売りを実演



緑丘中学校吹奏楽部による心の込められたコンサート



「いってらっしゃ〜い！」 船が見えなくなるまでお見送りしました